

市制施行80周年

アナ： 『市長が語る 2021 三島』 第 25 回の今日は、「市制施行 80 周年」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 今年は、三島市制が施行されて 80 周年と伺いました。太平洋戦争が始まる半年ほど前に三島市は誕生したのですね。

市長： はい。

昭和 16 年 4 月 29 日に三島町と錦田村が合併して、県下 6 番目の市として三島市が誕生しまして、その後、中郷村を編入して現在のかたちとなりました。幸い大きな戦火を免れたため、市内には三嶋大社をはじめと歴史的建物が多く残っています。

アナ： 楽寿園内にある旧小松宮別邸の楽寿館も素敵な建物ですよ。

市長： はい。

今年は、小浜池も 17 年ぶりに 2 年連続で満水となり、水面に映る楽寿館は大変美しく、見ごたえがあります。

また、今年の夏も豊かな湧き水を湛えましたし、市内を流れる源兵衛川や桜川では、水遊びを楽しむ元気な子供たち「みしまっこ」を目にすることができました。

せせらぎと緑や花を活かしたまちづくりは、本年度の市民意識調査でも高い満足率でした。

せせらぎと調和した市の風景は、「みしまっこ」の自慢の一つだと思います。

アナ： 「みしまっこ」といえば、三嶋大祭りで熱い夏を過ごす方も多いと思いますが、残念なことに、昨年を引き続き今年も中止となりました。

不完全燃焼の「みしまっこ」も多いのではないかと思います。

市長： はい。

特に迫力いっぱいのしゃぎりには、いつも元気をもらいますよね。

しゃぎりのような伝統芸能はもちろんですが、先ほどお話しした湧水とせせらぎなど、三島市には、多くの誇れる自然環境や歴史、文化があります。

この恵まれた資源を積極的に、広く PR することで、できる限り多くの方に三島の良さを知っていただきたいと思っています。

アナ： この三島の良さが評価された結果、賞をいただいたと聞きましたが。

市長： はい。

市民の皆様をはじめ、多くの方々のご協力によって、「選ばれるまち」としてお褒めの言葉を頂戴しております。

日常生活のほか、子育て環境、通勤環境、自然環境のバランスが取れたまちという評価をいただき、本年は、三島広小路が「本当に住みやすい街大賞 2021 in 静岡」で第1位に選ばれました。

また、総務省の調査によりますと、三島市における昨年の日本人の転入超過数は140人で、静岡県内では1位でありまして、特に、子育て世代の方の移住が多く見られました。

コロナ禍でのテレワークや、大学のリモート授業等の影響もあると思いますが、三島市がこれまで実施してきた施策への評価や、これから実施を計画している施策への期待のあらわれによるものと思います。

アナ： 子育て世代の方々にも選んでいただけるのはうれしいですね。

市長： ありがとうございます。

80年の節目の年に良いニュースが続き、私も大変嬉しく思っております。

アナ： さらに今年は、80周年を記念して50cc以下の原動機付自転車のご当地ナンバープレートを作られるそうですね。

市長： はい。

現在、三島市の魅力を市内外に発信する「自然」、「歴史」、「文化」、「シンボル」などをモチーフにした、ユニークなデザインを広く募集しています。

9月30日まで募集を行っておりますので、多くの皆様に積極的に応募していただきたいと思っております。

アナ： どんなご当地ナンバープレートになるのか、すごく楽しみです。

市長： はい。

私も大変楽しみにしております。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、大変厳しい状況が続いておりますが、明るいニュースを一つでも多く届けられればと思っております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。